



- 創 立：1979年1月23日
■例 会：毎週火曜日 17:30～18:30
■例 会 場：奈良ホテル本館
奈良市高畑町1096番地 電話 (0742) 26-3300
■事 務 所：奈良市大宮町6丁目3-7 中室ビル3F
電話 (0742) 33-8583 FAX (0742) 33-8600
hp : <http://www.naraomiya-rc.jp>
E-mail : info@naraomiya-rc.jp
■会長：宮西 正伸 ■副会長：水野 憲治 ■幹事：門脇 伸幸

お客様紹介

- ・2024-25年度地区財団資金推進委員会/大和郡山ロータリークラブ
中谷 裕二良 様
- ・2025-26年度地区財団資金推進・大口寄付委員会/大和高田ロータリー
クラブ 喜寿 輝昌 様

会長挨拶

【宮西会長】



5月18日（日）の家族親睦例会には、多くの会員様、本当に多くのご家族の皆様にご参加いただき、有り難うございました。また本年度当初、万博を家族親睦例会に入れてほしいと、親睦活動委員会清岡委員長にお願いし、実現していただきまして有り難く思っております。場所的には近くですので、いつでも行けるというのですが、この仲間、ご家族とご一緒に行けたということが良かったと思っております。ただ、同日に

地区の行事もありまして、RYLA最終日の河野さん、インターアクト関係の会議にご出席いただきました森田さんには、当初ご参加予定のところ、責任感を持たれて地区行事を優先していただき、申し訳なく、また有り難く思っております。万博では、本日から明後日まで、オール・ナラ・フェスティバルを開催、奈良の文化の魅力発信として、春日若宮おん祭や、天平行列などのパフォーマンスもあるようです。

また、その翌日から翌々日にかけて、太宰府RCに15名で訪問し、北河原さんに感銘深い卓話をいただきました。北河原さんは、パストガバナーとして、地区諮問委員として、様々な機会でお話されておりますが、同行のメンバーから、「北河原さんのお話は、クラブではお聞きできない。」と言われまして、妙に納得しました。当日なされた卓話の内容は、雑誌・会報委員会で、詳細に記録されておりますので、会報をご一読いただければと思います。

例会プログラム

第41回 6月3日 通算2143回

1. 握手挨拶
2. 開会点鐘
3. ソング
4. 会長挨拶
5. 例会状況報告
6. 委員会報告
7. 幹事報告
8. 卓話
9. 閉会点鐘

例会状況報告

5月27日 通算2142回

- ・会員数 67名
- ・出席免除者数 14名
- ・出席者数 46名
- ・出席率 79.31%

5月13日 通算2140回 (修正)

- ・会員数 67名
- ・出席免除者数 15名
- ・補填者 2名
- ・出席率 91.38%

さて、10日（火）の例会での理事会報告では、時間の都合上、本日皆様の状差しに配布の新入会員オリエンテーション公開実施の件のみ、ご報告致しましたが、追加でご報告させていただきます。昨年11月9日（土）・10日（日）に開催されました、IAC地区大会の決算報告がありました。当クラブとしまして初めての経験で、どれほどお金がかかるか分からない中、昨年度に1万円、本年度1万円の合計131万円を会員の皆様からお預かりさせていただきましたが、IAC地区大会サポート委員会の高野委員長、委員の皆様のご努力、当日配布資料や記念誌を富川さんに非常に低価格で作成いただきましたことなどで、結果的に決算は、総事業費370万円、地区からの補助金230万円、参加登録料100万円ということで、約90万円が残りしました。この90万円につきまして、会員の皆様に均等にお返しする方法もあるのですが、クラブ創立50周年も近いということもあり、理事会に於きまして、本会計に繰り入れることと致しました。本件に関しまして、ご意見、ご質問をお持ちの方は、私まで直接ご連絡の程、お願い致します。本日は以上です。
詳しくは動画をご覧ください。

挨拶

【地区財団資金推進委員会 大和郡山RC 中谷 裕二良 様】



皆さま、こんばんは。本日は、お知り合いの方も、初めてお会いする方もいらっしゃるかと思います。改めまして、大和郡山ロータリークラブに所属しております中谷裕二良と申します。

本日は、財団の懇談会が開催されておりまして、水野副会長よりご指名をいただき、同じ委員であります喜寿様とともに、こちらにお伺いさせていただいております。生駒ロータリークラブが終結してから早くも二年が経過しました。現在は、親子クラブである大和郡山ロータリークラブに戻りまして、活動させていただいております。大変楽しく、充実した時間を過ごさせていただいております。以上、簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

【地区財団資金推進・大口寄付委員会 大和高田RC 喜寿 輝昌 様】



大和高田ロータリークラブからまいりました、喜寿輝昌と申します。このたび、諸般の事情により地区への出向を命じられました。当初、「何もしなくていいから、とりあえず行ってくれ」との一言に安易に応じてしまったことが、そもそもの始まりでございました。

ところが、実際には「大口寄付」という重責が付随しており、思いのほか大変な役目を担うこととなりました。現在は、地区から何をどのように皆さまにご紹介すればよいのか、まだまだ手探りの状態で、日々勉強中でございます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございます。

委員会報告

【出席委員会 岡委員】

・出席報告

【ニコニコ委員会 戒田委員】

・ニコニコ報告

【親睦活動委員会 清岡委員長（家族親睦例会のお礼）】



皆様、こんばんは。家族親睦活動委員長の清岡でございます。先日18日に開催されました第4回家族親睦例会には、多くの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。おかげさまで、全4回の例会を無事に終えることができ、ようやくほっと一息ついているところでございます。今回までに、延べ303名もの皆様にご参加いただきましたこと、心より御礼申し上げます。これにて、私の役目も一区切りとさせていただきますが、次年度も引き続きよろしくお願い申し上げます。以上でございます。

【職業分類の変更 門協幹事より】

松岡会員の職業分類が変更されたことを報告します。

大分類：「不動産業」 小分類：「不動産賃貸業」

ポール・ハリス・フェロー授与

藤井会員 レベル6
多田会員 レベル4
増井会員 レベル4
中奥会員 レベル3
西本会員 レベル1



※ポール・ハリス・フェロー
ロータリー創始者の意志を継ぐ「ポール・ハリス・フェロー」プログラムは、ロータリー財団に1,000米ドル以上をご寄付くださった方を認証する8段階プログラムです。このプログラムは、ロータリーの年次基金、ポリオプラス、承認された財団補助金を支えるご寄付に対する感謝の気持ちを伝えるために、1957年に設置されました。

米山功労賞授与

金星会員 第8回
平方会員 第5回
河野会員 第3回
松岡会員 第1回



幹事報告

- ・5/18 次年度IAC会長幹事研修会 森田会員が参加
- ・5/18 河野アスカさん第6回交換学生 研修会に吉田会員が参加
- ・5/30 鷗尾の会 ゴルフ大会
- ・5/31 委員長会議
- ・6/1 危機管理セミナー

◎状差し

- ・6/10 公開オリエンテーション案内
- ・6月スケジュール表
- ・ハイライト米山302号
- ・第11回定例理事会 議事録
- ・鷗尾の会ゴルフ組み合わせ表
- ・風の便り 通刊127号

◎受付出欠

- ・次年度概況報告の確認表
- ・7/16 ガバナー公式訪問出欠表

卓話（新入会員卓話）



講師：戒田 真 会員

・自己紹介

- 所属：アコーというホテルグループ
- 総支配人としての略歴：
 - ・2006年よりホテル業界に従事
 - ・ニュージーランド南島クイーンズタウンでキャリアをスタート
 - ・今年で19年目となる
 - ・そのうち約10年はGM（ゼネラルマネージャー）としてホテル運営に携わる

・学生時代からホテル業界への道のり

- 大学時代は新聞少年として苦学生生活を送る
 - ・朝晩の新聞配達により時間的制約が大きく、生活に閉塞感を感じていた
- 姉の夫がスノーボードインストラクターであり、雪山での体験が日常からの解放感をもたらし、スノーボードに熱中するようになる。
- 大学卒業直前にスノーボードで大怪我（右膝の前十字靱帯と外側側副靱帯を同時断裂）を負う
 - ・北海道での事故後、松葉杖で東京に戻り、卒業式には出席
 - ・その後、2度の手術と2年間のリハビリを経験
 - ・医師から「靱帯、二本切れてるよ」と診断され、将来に不安を感じたが、スノーボードへの情熱は失われなかった
- リハビリ後、ニュージーランドへの渡航を決意
 - ・日本の夏に南半球の冬を求めて半年の予定で出発（当時26歳）
 - ・最初は語学学校に通い、1ヶ月のホームステイ予定が、現地家族の熱烈的なオファーで1年半の同居となる
 - ・東京・中野出身であり、ニュージーランドの自然や文化、人柄に魅了され、長期滞在を決意
 - ・ワーキングホリデービザを活用し、現地での就労を開始

・ニュージーランドでの経験と成長

- クイーンズタウンは世界的な観光地でホテルが多数存在
- 英会話がほぼできなかったため、最初はユースホステルの清掃係として勤務。
 - ・1年間の清掃員経験で英語力が向上
 - ・その後、シティホテルのポーター兼コンシェルジュ職に応募しノボテルに採用される
 - ・世界中から来る旅行者に街を紹介する仕事で、日々ワクワク感を感じていた
- 当初半年の予定が、土地や人柄に惹かれ、最終的に3年間滞在

・クイーンズタウンのホテルでの勤務と現地の魅力

- 勤務先：ノボテル クイーンズタウン レイクサイド
 - ・ワカティプ湖畔に位置するホテル。
 - ・映画「ロード・オブ・ザ・リング」のロケ地としても有名
 - ・バンジージャンプ発祥の地、ジェットボート、パラグライダーなどアクティビティが豊富
- 冬のクイーンズタウンはリマーカブルズ山の裏にスキー場があり、スキーも楽しめる
- 当時の同僚やGMとの交流エピソード
 - ・GMは現在も同ホテルのGMを務めている
 - ・私がGMになった際、彼から祝福のメールを受け取ったことが印象的だった
- ノボテル クイーンズタウン レイクサイドには25カ国の国籍の従業員が在籍していた（人事部長からの情報）
 - ・文化や人種の多様性に触れながらホテル業に従事できる点に強い魅力を感じた
 - ・札幌のメルキュールホテル（2009年すすきの開業）で日本のホテル勤務の機会を得た
 - ・札幌に惹かれた理由の半分はスノーボード趣味によるものでスノーボードの趣味が高じてホテル業界に入った
 - ・大きな挫折や楽しい時期など、様々な経験が現在に繋がっていると実感している

海外ホテルのチップ文化とサービス向上

- ・海外ホテルでの仕事（例：バレーパーキング、荷物運び）では、必ずチップをもらう文化がある
- ・チップはホテル従業員にとって大きな励みとなり、より良いサービスを提供する動機付けになる
- ・「必ず良いサービスが返ってくるので、海外ホテルではぜひチップ文化を体験してほしい」と推奨

アコーホテルグループの概要と成長

- ・アコーは世界最大級のホテルオペレーターである
- ・全世界に5,500のホテルを展開、さらに1,200件が開発中
- ・世界で80万室を展開している
- ・ヨーロッパ発祥で、ヨーロッパでは3,127軒のホテルを持ち、競合他社A社・B社の2倍以上の部屋数を保有
- ・オセアニア、東南アジア、中東・アフリカでも強いプレゼンスを持つ
- ・約20年前から日本での展開が加速
- ・2020年には3,500室だったが、現在は11,000室を超え、4年前から約3倍に成長
- ・10年前と比較すると約10倍の規模に拡大
- ・2024年には倍増、その要因は大和ロイヤルグループのホテルがアコーグループに加わったことによる
- ・グランドメルキュール、メルキュールを中心に地方でホテルが一気に拡大

アコーホテルのブランド構成と国内展開

- ・アコーグループには約50種類のホテルブランドが存在
- ・ブランドは4つのカテゴリー（エコノミー、ミッドスケール、プレミアム、ラグジュアリー）に分類される
- ・横軸では「スタンダード」（世界中どこでも同じ）から「ローカル」（地域色や柔軟性を持つ）まで幅広い
- ・ノボテルはミッドスケールカテゴリーで、1967年開業の基幹ホテル。今年で58年目
- ・大阪難波のスイスホテルなどもカテゴリー内に含まれる
- ・2025年7月1日、東京にフェアモント東京が開業予定。国内最上級クラスのモデルとなる

詳しくは動画をご覧ください。

卓話（新入会員卓話）



講師：稲生 隆太 会員

自己紹介とキャリアパス

- ・東京都新宿区生まれ、幼稚園年長からニューヨーク・ハーツデイルで育つ（マンハッタンから車で30分の郊外）
- ・小学校卒業後に東京へ戻り、日本で生活
- ・趣味は映画鑑賞とホテル訪問・飲食
- ・20代はバーテンダーとして活動シンガポールのラッフルズホテルで世界大会優勝経験のあるバーテンダー（宮澤英治）に師事
- ・フォーシーズンズホテル椿山荘東京でバーテンダーとして入社、後にマネージャー職を歴任
- ・都内のクラブやメンバーシップクラブでマネージャー職を経験
- ・直近ではアマン東京でオペレーションに特化したキャリアを積む
- ・外資系サービスオフィスを経営する不動産企業で日本地区営業部長を1年間経験後、現職に着任

デスティネーションとしての観光業の位置づけ

- ・本日のテーマは「デスティネーションとしての観光業の位置づけ」
- ・観光業の状況を簡単に把握する指標として「Googleで奈良旅行を検索する」などの例を挙げる

奈良観光の現状と課題

- ・海外の方は英語で検索する傾向があり、「to do 奈良」などのキーワードで検索される
- ・検索結果の黄色いハイライト部分には、奈良に関する一日旅行や半日旅行の情報が多く記載されている
- ・奈良に行きたいという視点で検索しても、既に「半日旅行でしょう」といった前提で答えが書かれている状況
- ・大阪や京都で同様に検索すると、3日間、4日間、5日間、7日間など複数日程のスケジュールが提案されているが、奈良は短時間の滞在が前提となっている
- ・奈良は「宿泊するロケーションではない」という情報が圧倒的多数を占めている
- ・奈良には宿泊施設自体が少ない、または海外のお客様を想定していない施設が多い
- ・海外でのマーケティングができていない、また海外の方が携帯で予約しにくいという課題が挙げられる
- ・2025年2月の記事でも「奈良に滞在すべきか」というテーマが取り上げられているが、世界的には奈良が滞在先として認知されていない
- ・2020年にJWマリオット奈良が開業した際や、その4年後のノボテルが開業時にも「既定概念を覆す」という記事が出ているが、コロナ禍の影響もあり、奈良の宿泊需要には空白期間が存在していた
- ・2023年の第4四半期ごろからインバウンドの流れが好転し始めている
- ・特にアメリカ合衆国（US）からの来訪者が増加しており、インバウンドがトップの位置にある

US富裕層マーケットと奈良の親和性

- ・USの富裕層は「本物志向」が強く、観光客向けの場所よりも本物の文化体験や歴史、他の人が経験していないユニークな体験を求める傾向がある（例：お金で買えないもの、歴史体験）
- ・こうした要素は奈良の持つ個性と非常に親和性が高い
- ・US富裕層は分母としては少ないが、奈良の観光業自体が小規模なため、未知のマーケットにアプローチするだけで大きな成長が見込める可能性がある

奈良観光の受け入れ体制の課題

- ・US富裕層が求めるレベルのサービスを提供できる施設や人材が少ない
- ・宿泊施設の数少なく、食事制限や特別な要望に即応できるスタッフも不足している
- ・移動手段として車を利用する方が多いが、英語を話せるドライバー（ESD：English Speaking Driver）が非常に少ない
- ・街場の飲食店では英語が通じないケースが多く、本物の奈良の食事を楽しみたいという要望に応えきれていない
- ・日本人の感覚では奈良はアクセスが良いと感じるが、海外の富裕層は自分でチケットを購入しないことが多い
- ・ホテルのコンシェルジュが切符を用意し、駅で運転手が迎えるといったサービスが求められるが、奈良ではその体制が整っていない
- ・切符購入やローカル電車の利用が必要な点が、海外富裕層にとっては大きな障壁となっている

今後のマーケティング戦略と露出強化

- ・ニューヨークタイムズなどの海外で旅行先を決める際に参考されるメディアで奈良の露出が少ない
- ・「リモートランド」など、超富裕層向けの旅行会社に対しても、奈良が対応できることをアピールする必要がある
- ・過去5年間、後回しになっていたマーケットへの遡及や、正しい事業創生のマーケティングが課題
- ・昨年は中国マーケットに投資したが、成果が出なかったという経営スタディもあり、今後は本当に必要なマーケットへのアプローチが重要

京都・大阪の需要増加と奈良への影響

- ・現在、京都と大阪の需要が非常に上昇しており、価格も高騰している
 - 例：京都の宿泊生（宿泊需要）がどんどん上がっている
 - 大阪では万博の影響で中華（中国人観光客など）が非常に伸びている
 - これにより、奈良にも需要が流入してくる状況
- ・奈良はまだ空き状況に余裕があり、大型案件や企業の防災・ワークショップ案件が入ってきている
 - 企業の例：今まで大阪でワークショップを行っていた企業が奈良に移ることで、浮いた予算を社員に還元したいという声が増加
 - 奈良の価格帯が企業ニーズとマッチしている
- ・こうしたマーケットに向けて、奈良の魅力を積極的にアピールしていきたい意向が示された

奈良の宿泊・観光業の今後と業界への期待

- ・奈良の宿泊業・観光業が発展することで、すべての業界のビジネスにとってプラスになることは間違いない
- ・今後も協力をいただくとともに、温かい提案を考えていきたい

以上、ご清聴ありがとうございました。

詳しくは動画をご覧ください。

2025～2026年度 委員長会議・懇親会

2025年5月31日（土）14時30分から17時まで、旅亭十三屋にて「委員長会議」が開催されました。

会議には、次年度会長の高野会長、次年度幹事の鈴木幹事をはじめ、次年度の各委員長、次年度理事会メンバー、特別委員会委員長、事務局の皆様が出席されました。会長・幹事の挨拶に始まり、会長方針、各委員会の活動方針および計画についての発表が行われました。各委員会からの発表に対しては、会長から熱意あふれるコメントが寄せられました。

委員長会議の後には懇親会が開催されました。乾杯のご発声は次年度副会長の野崎会員が務められ、途中、次年度未来計画委員会委員長の武藤会員をはじめ沢山の会員より挨拶をいただきました。締めめの挨拶は、次年度出席委員会委員長の中條会員により行われました。

（委員長会議の様子）



（懇親会の様子）



鷗尾の会ゴルフコンペ

5月30日（金）鷗尾の会ゴルフコンペがKOMAカントリークラブで行われました。
奈良大宮ロータリークラブから9名が参加し、結果は次の通りでした。

団体の部	優勝	奈良大宮ロータリークラブ
ジュニアの部	優勝	中奥雅巳 会員





合計 53,000円 累計 3,111,000円

中谷裕二良様（大和郡山RC）本日は久しぶりに例会におじゃまいたします。
また、財団の懇談会の機会も頂きありがとうございます。
宮西正伸君 稲生さん、戒田さん、本日の卓話、楽しみにしております。
稲田正剛君 戒田さん、稲生さん、本日の卓話、楽しみにしております。
大塩栄作君 結婚記念日にお花、ありがとうございます。
倉田智史君 戒田様、稲生様、卓話大変楽しみにしております。
松井和弘君 前回の例会では、おいしい昼食と楽しい万博をありがとうございました。
両方とも息子の印象に残ったようで、大変喜んでおりました。
家族とのいい思い出になりました。
武藤廣茂君 川端さん、先日は大変お世話になりました。楽しく過ごさせて頂きました。
吉田英正君 ①結婚記念日に素敵なお花が届きました。有り難うございます。
②清岡委員長、宮西会長、博多の夜、大変お世話になりました。
ニコニコ協力 金田智仁君 川邊経恭君 武中洋勝君 谷川千代則君 田村英樹君
中谷圭佑君

◆例会変更のお知らせ◆

<やまとまほろばロータリークラブ>

- ・6月26日（木）移動例会に変更し、時間・会場を変更致します
時間：17：30～ 場所：多武峰観光ホテル

※ビジター受付は、6月26日（木）12:00～12:30 事務局にて行います

今後の予定

- ・6月10日（火）年間報告
- ・6月17日（火）友愛例会
- ・6月24日（火）休会（国際大会）
- ・7月 1日（火）卓話 卓話者：青少年交換学生 河野 アスカ さん
グローバル補助金奨学生 山本 花 さん